

眼科を受診している患者さんへ

当科では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会において、ヘルシンキ宣言の趣旨に添い、人を対象とする医学系研究に関する倫理指針、ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針等を遵守し、医の倫理に基づいて実施されることが審査され認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。もし、この研究に関するお問い合わせなどありましたら、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。

記

研究課題名	複視を伴う後天性斜視患者に対するプリズム眼鏡における満足度調査
研究機関名	愛知医科大学病院
研究機関の長	病院長 羽生田 正行
担当科等	眼科
研究責任者	講師 藤田 京子
試料・情報を利用する学外の研究機関名・研究責任者名	非該当
研究の意義・目的	<p>斜視とは両眼の視線が合わなくなる状態のことを言い、物が二重に見える複視という症状を引き起こします。複視の治療にはプリズム眼鏡を使用することがあります。プリズム眼鏡は様々な検査を行い選定していますが、作成してからも症状が改善しないことがあります。</p> <p>この研究は、眼科検査の結果と、問診票によって得た複視の状態やプリズム眼鏡の装着感についての患者さんの評価の、両者を関連させてプリズム眼鏡の治療効果を調査するものです。この結果を用いることで、より質の高いプリズム眼鏡処方を行うことを本研究の目的としています。</p>
対象となる患者さん	2018年6月から2019年9月までにプリズム眼鏡処方を行った患者さん
研究の方法	プリズム眼鏡処方の選定および治療効果の評価に必要な斜視に関する検査を、処方時および処方後の受診時に行います。また、患者さんが普段感じている見え方やプリズム眼鏡の装着感について問診票を記入してもらいます。
研究期間	倫理審査承認日 ～ 2020年9月30日
研究に用いる試料・情報	情報：視力検査・眼位検査・Hess赤緑試験・両眼単一視野・眼位写真 複視に関する問診票・複視とプリズム眼鏡に関する問診票 等
外部への試料・情報の提供	なし
試料・情報の利用又は提供を希望しない場合	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、下記問い合わせ先まで申し出てください。
問い合わせ先	愛知医科大学 眼科 担当者：視能訓練士 加藤 奈保子 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1 電話 0561-62-3311 (内線 37000)